

あなたの技術と感性でメタ空間を演出！

目的

- IoT・AI・P2P などの最先端テクノロジーをベースに社会的課題・地域課題を解決できる人材 (DX 人材)を育成する
- 空間演出技術・メタバースなどの最先端仮想空間技術を体験・習得する
- IoT・AI センターの最先端設備を体験・利用する

SOJO IoT



概要

主催 崇城大学 IoT・AI センター

共催 熊本市北区役所 情報学科未来情報コース DX from KUMAMOTO SCB ラボ

後援(予定) 総務省九州総合通信局 肥後銀行 熊本日日新聞社 ベネッセコーポレーション
JCOM マーケティング

日時 令和 8 年 7 月 23 日 (木) 10 時 40 分～12 時 10 分

会場 崇城大学 IoT・AI センター (熊本市西区池田 4 丁目 22-1 情報学部棟 1F)

※崇城大学 IoT・AI センターの詳細についてはウェブサイトを参照

<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/iot-ai-center.html>

参加予定 ◆フラッシューズ部門：情報学部 1 年生 188 名 / ◆チャレンジャーズ部門：情報
学科 2 年生以上 + 芸術学部ほか他学部学生 20 名 / ◆高校生部門 20 名 計約 228
名 (昨年実績 199 名：29 チーム)

内容

- IoT・AI センターメタ空間スタジオを利用する
- Mad Mapper などの最先端機材を駆使して、
仮想空間 (メタバース + 空間演出) を構築・可視化する
- チームごとに制作した動画コンテンツを審査する
- テーマは下記の通り ※ひとつをテーマとして選択
「青春」川添 桐也 (八代工業高校 3 年)
「希望」本田 蓮 / 安田 希 (玉名工業高校 2 年)
「もったいない」堤田 蒼佑 (菊池高校 2 年)
「革命」平江 勇羽人 (崇城大学情報学部 1 年)
- 審査基準は「個性」「ストーリー性」「グラフィックや BGM / 効果音 / ナレーションのクオリティ」など
- 上位 12 チームを表彰する (表彰状の授与)
崇城大学学長賞 熊本市北区長賞 肥後銀行賞 熊本日日新聞社 社長賞
JCOM マーケティング熊本局長賞 ベネッセコーポレーション賞 NTT 西日本熊本支店
長賞 熊本ヴォルターズ賞 DX from KUMAMOTO 賞 IoT・AI センター長賞
SCB ラボ賞 審査員特別賞
- 高校生向け動画制作講座を開講(6～7 月に 3 回程度)



メタ空間スタジオでの映像投影の様子



ウェブサイト URL

審査員(予定)

▪ 熊本市北区長 ▪ 総務省九州総合通信局長 ▪ 肥後銀行地域振興部長 ▪ 熊本日日新聞社すばいす編集長 ▪ ベネッセコーポレーション西日本高校営業部長 ▪ JCOM マーケティング熊本局長 ▪ 熊本ヴォルターズ代表 ▪ NTT 西日本熊本支店長 ▪ DX from KUMAMOTO 代表 ▪ SCB ラボ代表理事 ▪ 崇城大学学長 ▪ 崇城大学 IoT・AI センター長